friendship force HIROSHIMA
# Newsletter Vol.11
【 平成２９年９月９日 発行 】

## 国際交流のチカラで「バカの壁」を破ろう

フレンドシップフォース広島　会長　弓手 博

2004年広島県三次市にうぶ声をあげたFF広島は、2007年に広島市、続いて、2008年に福山市に支部を設立し、それぞれ地域の特性を生かしながら楽しく有意義な異文化交流を行ってきました。しかしながら、近年、組織内の高齢化が急速に進み、会員数も右肩下がりの状態に陥っています。

しかし、幸運なことに、石井嗣代メンターから提案された「英語圏諸国でのテーマ交換English Learning」へぜひ参加してみたいと、FF広島においても、また全国的にも、小学生や中学生、保護者、小学校教員など若い世代の関心が高まり参加者も増えてくるようになりました。インターネットやスマホなど多様なコミュニケーション手段の発達のおかげで、いわゆる「教室英語」や「学校英語」のウソクササが露呈するようになってきました。

日本国内の教室（学校）で一生懸命に学んでも、どうしても真正性（Actuality, Authenticity, Ambience）に欠けた英語になってしまい、いわば文法は知っていても音法は全くいいかげんな「英語音痴のペーパードライバー」を再生産しているようなもの。あげくの果て、いくら学んでも十分なコミュニケーション能力がつかないので使えない。これからは英語圏の国々でのホームステイを通して「生活英語」を学ばナイトという切実な声が聞こえるようになってきました。

加えてタイミングよく、日本へのInbound Journeyとして、FFIアトランタ本部のプロジェクト「アメリカの若者を対象としたGlobal Youth Journey to Japan」が新たに提案され、2018年から、Team AmericaとTeam Japanがチカラを合わせて日米若者交流を推進することになりました。

アメリカ側から提示されている中高生対象のGlobal Youth Journey to Japanの交流内容に対して、こちらからは、音楽の交流、その他の芸術交流、平和学習、スポーツの交流など、参加・体験型の交流をカウンターオファーしようと考えています。例えば、若者のサイクリング「ツール・ド・シマナミ」、被爆地「広島女学院高校での平和交流学習」、みろくの里神勝寺国際座禅堂での「坐禅体験（ドイツ人僧侶の英語による指導）」「学校の調理実習室でWashokuの調理体験」など、日本の若者も出来るだけ多く巻き込む方法のベスト・ミックスを模索中です。

FF組織の高齢化は避けられないにしても、青春のココロを失うことなく社会に開かれた明るく楽しい組織経営を心掛けたいものです。この世の中において価値あるものは存続し続けるというように、バカの壁を打破して新しい価値（モノ、コト、ヒト）を創造し進化し続ける組織にしたいものです。グローバル社会において一番大切なのは、結局、Stay foolish, stay hungry.（ステイ－ブジョブズ）のパラドックス・ユーモアのセンスとフレキシブルな対応力ですから。

# Outbound journey
# South West Florida Report

## ようこそSouth West Florida 会長歓迎のことば

Dear Ambassadors,
You have come to one of the friendliest places in Florida.Our South West Florida area Is populated with open and friendly people .
We are a less crowded coast and I think that makes a difference. Friendship. Our club reflects the community and so we offer enthusiastic welcome and our sincere friendship. I think you will get a chance to see the nature around you and hopefully enjoy some of our famous winter warm weather.
We look forward to sharing our lives during your visit.
In Friendship　Sue Linehan

## アンバサダーコーデイネーター　猪原 俊郎

今年のJourney(交流)は17名のアンバサダーでアメリカのサウスウエストフロリダクラブ（SWF）を訪問しました。SWFは2013年10月に受け入れし、今回はカウンタービジットで一部メンバーとの再会を楽しみ、私は4年前にホストを受けたDennis & Jule Yemma宅にお世話になりました。今回は終始天候に恵まれ素晴らしい交流をすることが出来ました。特にフロリダはパラダイスと呼ばれ全米から多くの観光客とスノーバーズが集まる米国屈指のリゾートで、つかの間の別天地を心行くまでエンジョイしました。

## 概 略 行 程

| | |
|---|---|
| 3月　1日（水） | 広島空港14：24発国際線接続便で成田/ヒューストン経由でフォートマイヤーズ着 22：49 深夜にもかかわらずホスト全員の出迎えを受ける |
| 3月　2日（木） | 昼過ぎからLake Regional Parkにて歓迎ピクニック 昼食後279エイカーの自然公園の散策を楽しむ |
| 3月　3日（金） | 午前 Babcock Ranch訪問、ワイルドなバスで園内を散策しワニの肉を試食、 昼食はSue Linehan 会長宅で昼食、地元紙の取材を受けた |
| 3月　4日（土） | 午前はEdison Ford Winter Estatesを訪問、昼食はDennis & Jule 宅のプールサイドでピザパーテイー　ピザ窯はDennisの自作 |
| 3月　5日（日） | フリーデー　Everglades へのDay Trip 、エヤーボートに乗船 |
| 3月　6日（月） | 午前ECHO訪問、飢えに苦しむ地球上925百万人を救うため農業指導の取組みを視察 夕刻Michelle Kemp 宅でFare well Party |
| 3月　7日（火） | 交流終了、4名は帰国、13名はオプショナルツアーに出発 |
| 3月13日（月） | 成田着17：30　広島着19：10 |

ホストファミリーのPriscilla & Hugh夫妻は自然体でさり気ない心遣いで、私達を迎えてくださいました。お二人の仲が良く、私達もあんな風に年齢を重ねたいなと羨ましく思いました。竹内さんと二人で作った日本料理(ちらし寿司、お好み焼き)も喜んで食べていただきました。また、Tea ceremony や、日本舞踊も見ていただき、食後にポルカを踊ったりと、楽しく交流ができ、帰って来てからも楽しかった思い出と心地よい余韻が続いています。ランチにピザを焼いたり、ヨットでメキシコ湾に繰り出したり、Farewell partyでは趣向を凝らした仮装など、盛りだくさんの行事にFlorida Clubの皆さんが協力し準備されたことが伝わって来ました。　　阿部 真由美

この地に在住の皆さんが「ここは、パラダイス」と言われる様に素敵な理想郷でした。大らかな皆さんのおもてなし、日に２度のスパも心地よい睡眠を誘い疲労回復に最適でした。

私のホスト、Bettyは85歳の元教師で２年前に御主人を亡くし、彼との出会いのローマから始まり、様々なエピソードを聞き素晴らしい結婚生活であった事を感じました。

写真は、キーウエストでアメリカの最南端、90マイル先はキューバです。彼方の海はemerald greenに光り豪華客船やヨットの姿。この素晴らしい眺めに釘づけになりました。　　森川 悦子

私のHOSTは夫婦ともにレバノン人でやはりUSAではsnow birdです。奥さんは脳梗塞で半身不随になり、屋内では杖を頼りに移動し、屋外では車椅子でした。夫婦仲が大変良く羨ましいほどで、奥さんが家事をできない状態でしたから、夫君が炊事・洗濯・掃除と全て快くやっておられ、日本の私の家庭とは段違いな状況で、頭の下がる思いでした。

フロリダ半島には山はなく全体が平坦地でFORT MYERS は人口２５万人くらいだと聞きましたが、少し郊外に行くと土地代金が格安です。HOSTの家はFORT MYERS 空港から車で３０分くらいのアパート群のCOMMUNITY内にあり、静かな湖畔にありました。天気はずーと快晴で正に癒しの湖畔にいるという感じでした。　　川嵜 武博

2011年以来六年ぶりに　FF Southwest Florida との交流に参加させていただきました。アメリカは2010年のイギリス、2011年のネパールとは全く異なる歴史、文化があり大変興味深い、ホームステイの交流でした。同行の小川さんと一緒のステイ先の Sue & Rob Linehan さん宅は Fort Myer 近郊の Punta Gorda という運河に囲まれた地域にあり、典型的なアメリカ人の住宅という感じでした。三つの広い寝室、広いリビング、プールがあり、運河には外洋まで出れるセイルボートが係留されていました。素敵なところにステイさせていただいたとワクワクしました。

短い期間でしたが、広大なアメリカの一部を満喫できました。　　延広 正行

LouとCheryleの家は緑いっぱいのコミュニティの中にあり、すぐそばにリスやうさぎがやって来るような素晴らしい環境だった。Cheryleの手料理はアメリカらしくなく薄味で量も適切で、我々夫婦は毎日美味しく頂いた。Louはレバノン系の３世だそうだが大きな体に似合わずとても優しかった。食事のあとでLouと私はNightCapを楽しんだ。アメリカの今の政治や移民のことなど、かなりシリアスな話もしたがアメリカ人にもいろいろな考え方の人がいることを改めて感じた。日本に来て少し長く滞在したいとしきりに言ってたので来日したら是非また会いたい。そして今度は私たちがいろいろと案内してあげたいと思う。　　山本 直道・鈴子

ホームステイしている６日間はいずれも抜けるような青空の毎日でした。私がホームステイをさせてもらったのはSue and Rob Linehan夫妻の処です。そういう意味では避寒地フロリダの醍醐味を毎日味わえた素敵な日でした。毎朝起きるとリビングから見えるセーリングヨットのある風景を見ながら心地よく頬に当たるそよ風を感じながらしばらくすると朝食です！ギリシャヨーグルトの中にブルーベリー、パイナップル、イチゴ、マンゴを入れて頂きます。パンにはブルーベリージャムをつけて飲み物はオレンジジュースにコーヒー。ジュースの入れ物には”not from concentrate″これは天然100％搾りたてという意味だそうです。食事は作るのは奥さん、片付けは奥さんと旦那さんでした！　　小川 徹

Big country アメリカ、国土は広大、国内での時差もあり、道路幅も広く行けども行けども真っ直ぐの道が続いていました。毎日の行事への参加も長い距離を移動し、広い国なのだと今更ながら感じました。私のホスト(Cassandra )の家は、ハーバー近くにあり、広大な敷地に建てられ、裏庭には7mの２本のパームツリーを植えてあり、室内には２人のお気に入りの絵画や収集した貝殻等を調度品とともに上品に飾ってありました。毎日の会話もスムーズにはできませんでしたが、散歩の時やたくさんのスケジュールの中、私の未熟な英語力でも会話が広がり楽しく良い経験ができました。　　渡辺 絹子

今回のフロリダへの訪問は全くストレスのかからない楽しく、面白く、愉快そのものでした。当然初めてお会いするFFのメンバーの方たちでしたが何年来の知己のように接していただきました。地球の裏側のアメリカの観光地フロリダへ一度はと思ったことはありましたが、こんな形の訪問と楽しい生活が送れたことは夢のような気がしています。

私はエバグレーズ湿地(ワニが生息している)をエアボートで疾風の如く自在に走ったこと、最高に盛り上がったフェアウェル パーティーなど素晴らしい思い出をたくさん頂いたことを多くの関係者の皆さんに感謝したい。

神森 且視

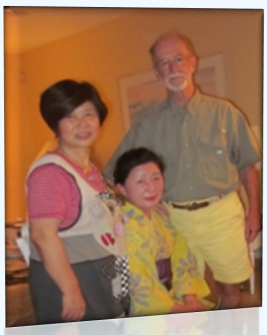
私のホストジニーはフットワークがよく家に留まる間もなく私をあちこちに連れ歩いてくれました。写真のターバンの女性は隣人です。

彼女の家を訪問した際　驚いたことに彼女の家の中は全てアジアのグッツでかざられていました。まるでオリエンタル古美術店のようでした。全部、元住んでいたニューヨークで買い集めたそうでアジアへは一度も行ったことがないそうですがとても興味を持っているとのことをうれしく思いました。

日本からの珍客をとても歓待してくださり和やかな心に残るひと時を共にすごしました。　竹迫 佳子

FFでのホームステイは今回で2回目です。受け入れをして下さったホスト・メンバーの人達はとても気さくで、初めて会ったその時から私達はずっと前からの知り合いと言うような気持ちになりとても居心地が良かったです。

マッチングが決まった時に英語が得意でない私は自己紹介のメールに「My English is limited.」と書いていたのですが、いろいろ話しかけてくるホストにしどろもどろで返事をしている私に「あなたの英語は上手よ」と言ってもくれました。今回はあちらこちらで連日のようにパーティが有りましたが私はこのパーティがとても楽しかったです。　安田 艶子



Southwest Floridaクラブのもてなしは、とてもすばらしいもので　した。正味5日間、十分に楽しませていただきました。会員の皆様がホスト、デイホスト、ディナーホストと役割を分担して、お互いを尊重しあいながら、積極的に参加されていました。そして、自分たちもとても楽しんでいらっしゃるように見えました。これぞフレンドシップフォースの交流だなと思いました。
フロリダの自然や珍しい動物を見られたこと、開放的で明るい人たちに会えたこと、また、阿部さんのリコーダーの演奏に合わせて、茶道のお点前と日舞を皆さんの前で披露させていただいたことも、とても良い思い出になりました。　竹内 佳代子

# 2017年度
# フレンドシップフォース 広島総会報告

１月２８日（土）、松永コミュニテイーセンター２Ｆ会議室で、３５名の会員さんのご参加を頂き、２０１７年度ＦＦ広島定例総会及び研修会を開催しました。午前中の総会では

**①２０１６年度の事業報告　②２０１６年度会計報告　③２０１６年度会計監査報告**
**④２０１７年度の事業計画　⑤２０１７年度予算計画　⑥役員改選**

の６議案が審議、承認され、２０１７年度のＦＦ広島の活動がスタートしました。
２０１７年度は役員改選の年度で、役員改選案が承認されました。

**【　２０１７年度役員　】**

**【会 長】弓手　博　　【副 会 長】田村 賢治　谷口 昌史　【事 務 局 長】 猪原 俊郎**

**【理 事】 阿部真由美　神森 且視　廣森 彌生　川嵜 武博**

**【会 計 監 査】 山岡 克己　山本 鈴子**

午後の研修会は、ＦＦ広島の会員で元福山市立大学教授田渕五十生氏の「世界遺産と異文化交流」と題しての講演がありました。「世界遺産条約」の概念が誕生したのは、誰もが「遺そう！」と叫んだ時である。身近な例として、原爆ドームが世界遺産になった経緯のお話しがありました。一高校生が日記に**『あの痛々しい産業奨励館だけが、いつまでも、恐るべき原爆のことを後世に訴えかけてくれるだろうか』**と書き遺し、１６歳で急性白血病で亡くなりました。この女子高校生の日記が保存運動の契機となり、原爆ドーム保存を求める運動が始まりました。それから広島市議会が原爆ドームの永久保存を決議することになり、１９９６年に世界遺産に登録されています。他にも多くの世界遺産を例に**『目から消えるものは、心から消える』-Out of Sight, Out of Mind !-**人類の宝物を次世代に無傷でバトンタッチする世界遺産教育、異文化交流の重要性を学んだ研修会でした。

理事　廣森 彌生

## Stop Over - Haliburton Highlands Report

HC 竹迫 桂子

SPOでカナダ、ハリバートンハイランズのアンバサダーをお迎えしたのはすでに葉桜の頃でしたが、皆様はそれまでに奈良でステイを終えられた後で、そこで桜は堪能されたとのことでした。

くしくも、３月に広島FFはフロリダ（サウスウエストフロリダクラブ）を訪問したわけですが、６月にはカナダのこのクラブを訪問されるとお聞きし、広島・カナダ・フロリダと繋がっている「輪」に「私達は地球の仲間」という言葉を思い浮かべ、FFの真のねらいを実感しました。

平和公園のプログラムでは、その惨状に大変心を痛められ、戦争の空しさを強く考える機会を与えてもらった感動の体験であったと言ってくださいました。

宮島ではタイミングよく満潮で、「うつくしいでしょう？」と自慢しましたら「自分達の住んでいる町の風景とよく似ている」と言われ、さて山の中にお住まいのはずだが？実はお住まいの所は海のように広いヒューロン湖の近くで、辺りには大小６００か所の湖が点在しており、森と湖に囲まれた美しい町なのだと誇っておられました。

## －新会員紹介－

【 松井　久美　さん 】

趣味で、外国語を勉強して、海外旅行に出かけていました。もっと外国の方と友達になりたいと思い、入会いたしました。語学も経験もまだまだ皆さんには及びませんが、よろしくお願いします。

【 田中ヒロ子　さん 】

学生時代から英語が好きで、今までスローペースですが学習を続けてきました。しかし「読む・書く・聞く」は1人でできても、「話す」にはやはり相手が必要です。英語で話せる機会が欲しいと思っていたところ、FFのことを知り入会いたしました。どうぞよろしくお願いします。

# Western Michigan　受け入れ計画

今年の１０月３１日から１１月７日までWestern Michiganから２０名のアンバサダーを受け入れます。Western Michiganは五大湖のうちの４つの湖に囲まれているということもあって自然も多く観光客で賑わっているところです。

日本では愛知クラブとの交換行事の後、姫路、倉敷を経て福山に来られます。

福山では神勝寺で座禅体験や温泉など、常石造船見学、鞆の町では中学生が英語によるガイドを予定しています。例年のとおり広島観光（原爆資料館、平和公園など）、宮島観光（厳島神社参拝、買い物など）も楽しんでいただきます。

皆様のご協力を頂きながら楽しい交流が出来ますようよろしくお願いします。

ＨＣ 小川 徹　Ｃｏ-ＨＣ 久田 悦子　竹内 佳代子

## 日 程 予 定

１０月３１日（火）　オリエンテーション（ 福寿会館 ）
１１月　１日（水）　Welcome　Party（ 松永コミュニティセンター ）
１１月　２日（木）　常石造船・神勝寺訪問
１１月　３日（金）　平和公園・原爆資料館訪問
１１月　４日（土）　宮島観光
１１月　５日（日）　Ｆree day
１１月　６日（月）　鞆の町散策（ 鞆中学生によるガイド）
１１月　７日（火）　京都へ出発

## *Global Youth Ambassador Programの延期*

ＨＣ　廣森 彌生

6月12日（月）～ 6月17日（土）に計画していました Global Youth Ambassador Program が急遽、来年度に延期となりました。

昨年度の11月から、ジョージア州アトランタ高校生２０名～３０名を日本へ招聘するGlobal Youth Ambassador Programに取り組んで来ました。ＦＦ武蔵野三鷹クラブ、ＦＦ広島クラブ、ＦＦ奈良クラブと交流し、授業体験、企業訪問、広島での平和学習、座禅体験等の交流計画はほぼ完成していました。本年度の２月時点までは、参加者20名、 内訳：高校生16名（女8名、男8名）・大学生2名・大人２名の報告を受けていましたが、その後Ambassadorの氏名、年齢、住所等の連絡がなく、突如武蔵野三鷹クラブより、参加者が集まらないので、中止にしたい旨のメールが入りました。それでもなんとか計画を遂行できないかと、FFIに打診をしましたが、最終的には、生徒、大人を含めて8人しか参加希望者がいない状況となり、所期の目標達成が困難と判明し、本年度の実施を断念せざるを得ないこととなりました。

このような結果に至るまでには、色々な問題点がありましたが、一番の問題点は、この企画の責任者であったアトランタの教育委員長Ｅａｖｅｓ氏が市長選挙に立候補し、このプロジェクト遂行の責任を放棄したことに大きな問題があったようです。FFI会長のJermi Snook氏がこのプロジェクトの代替案として３案を提案されました。

１案　このプログラムを全てキャンセルする。

２案　少人数でも来年度へのパイロットプログラムとして、実施する。

３案　このプログラムを全て来年度へ延期する。

弓手会長さんが、この案をＦＦ広島の理事に提示され、全ての理事の総意で、第３案を選択し、来年度延期を決定いたしました。

【 編集後記 】

厳しい暑さが続いていましたが９月に入り朝晩、めっきり涼しくなってきました。

広報委員のメンバーをはじめ、たくさんの方にご協力いただき、無事に第１１号を発行することができました。ありがとうございました。News letterの質の向上のため、広報誌へのご意見等ございましたらメールでお寄せください。

（ 編集委員　廣森 彌生　阿部 真由美　小川 正樹 ）